

# 東京湾海況情報 25-1

## 東京湾水質調査結果（平成25年4月）

（平成25年4月26日発行）

千葉県水産総合研究センター  
 東京湾漁業研究所  
 〒293-0042 富津市小久保3091  
 TEL 0439-65-3071  
 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp  
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 4/11：内湾(わかふさ)、4/12：内房海域(ふさみ丸)  
 関東・東海海況速報(4/12)、東京湾口海況図(4/12)  
 モニタリングポスト(4/11：国土交通省関東地方整備局、海上保安庁)  
 千葉県環境研究センター(4/10)

東京湾海況情報は、毎月1回行っている水質調査の結果をとりまとめ、ホームページで公開しています。どうぞ御利用願います。

### 【 水温・塩分の状況 】

湾内の表層水温(図1)は14~16℃台で、平年より約1~2℃高くなっています。塩分はほぼ全域で30~34PSU台前半で、盤洲から富津にかけての周辺海域では平年よりやや高めになっています。

縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図3)では、水温16.5℃以上・塩分34PSU台前半の水塊が浦賀水道航路付近の中層(20~30m)付近までみられていました。

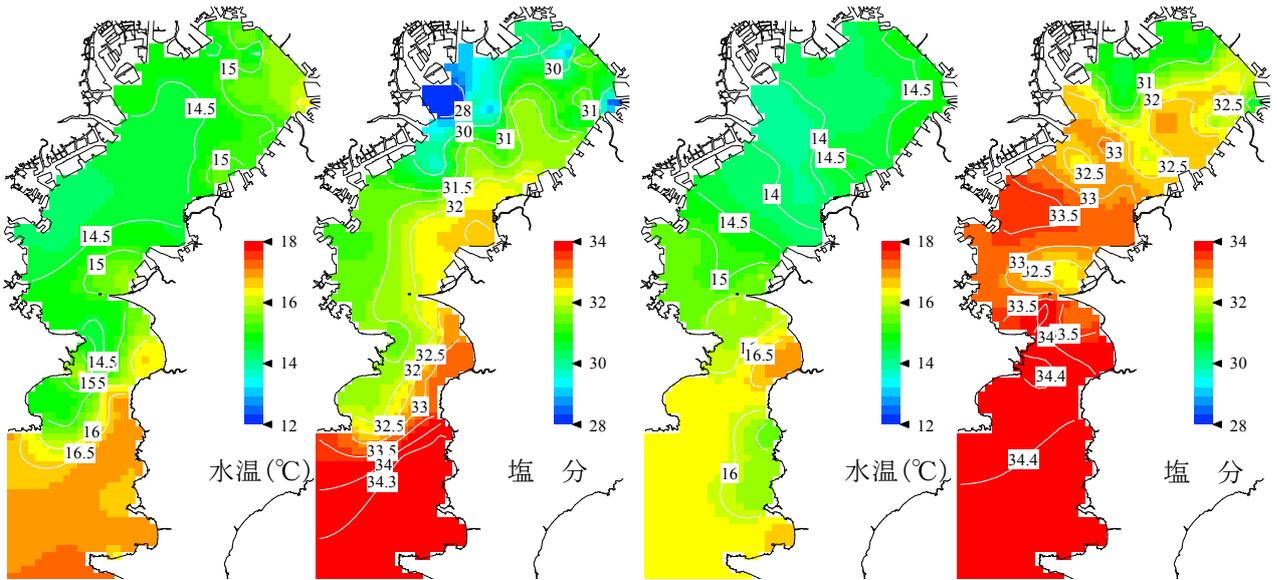


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

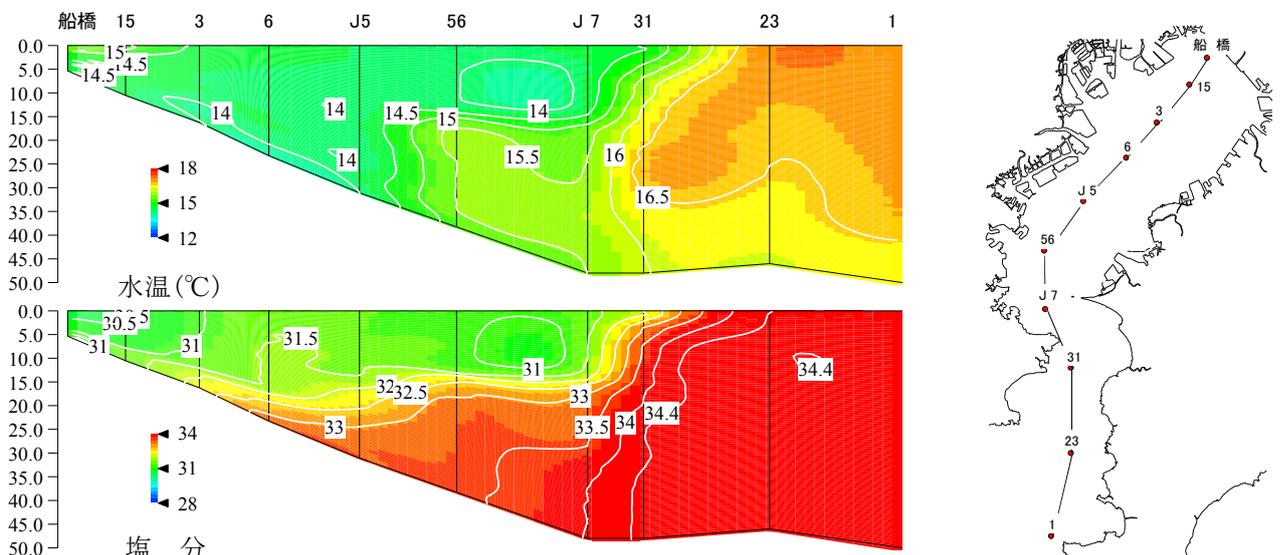


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

### 【 赤潮の状況 】

赤潮は東京灯標から浦安・船橋にかけての沿岸で発生し、pHは8.5、透明度2m前後で、水色もやや褐色を呈している状態です。

優占種はケイ藻のユーカンピア (*Eucampia zodiacus*) とスケルトネマ (*Skeletonema sp.*) で、東京灯標付近では、さら渦鞭毛藻のゴニオラックス (*Gonyaulax sp.*) がやや多くみられていました。

また、保田から富浦にかけての周辺海域でもユーカンピアとスケルトネマがやや多くみられていました。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。

色	: オリーブ～褐色
酸素飽和度	: 150%以上
透明度	: 1.5m以下
pH	: 8.5以上
クロロフィルa	: 50 $\mu\text{g/L}$ 以上

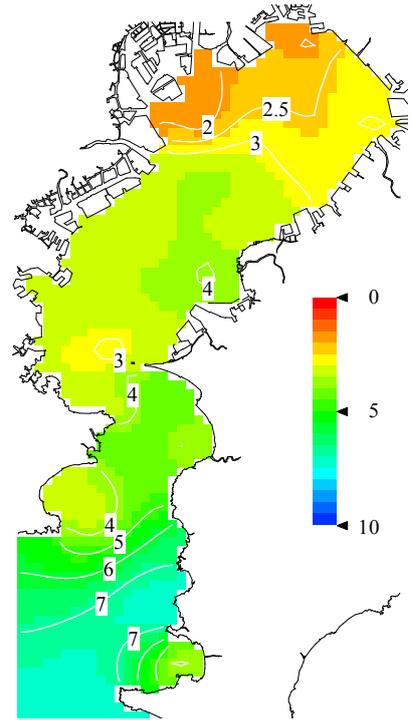


図4 透明度の分布 (m)

### 【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は最も低い川崎人工島付近で4ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

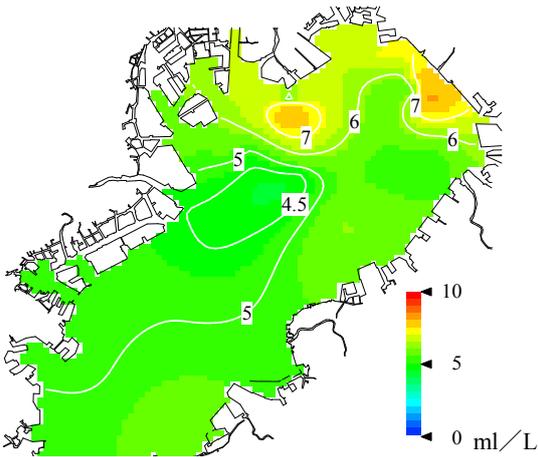


図5 底層部の溶存酸素量の分布 (内湾)

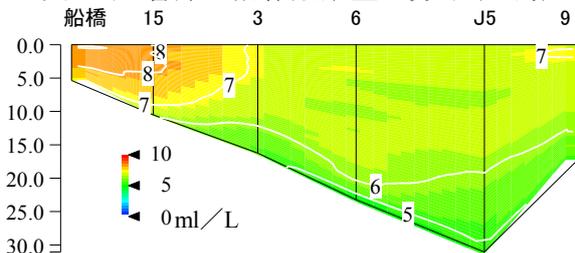


図6 縦断面の溶存酸素量の分布 (内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%) 以下を貧酸素水塊としています。

### 【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩(図7)は溶存無機態窒素(DIN)、リン酸態リン( $\text{PO}_4\text{-P}$ )ともほぼ全域で平年より少なく、リン酸態リンはかなり少なくなっています。

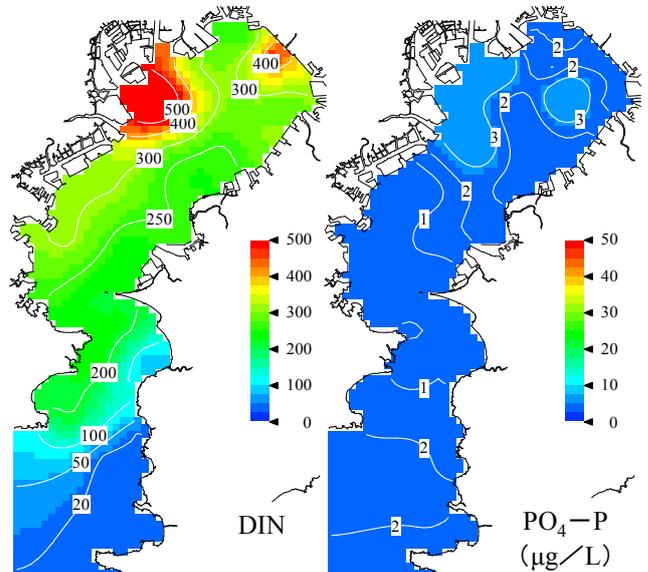


図7 栄養塩濃度の分布 (表層)

## 【黒潮の状況】

黒潮はB型基調で推移し、その流軸は12日現在八丈島付近を通り、房総半島南東岸に接岸しながら北東方向に流れています(図8)。

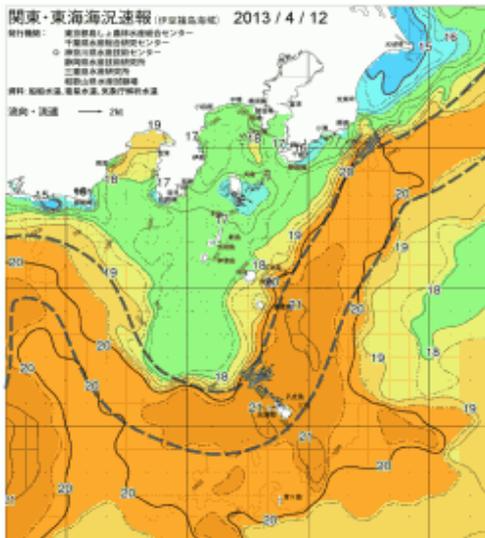
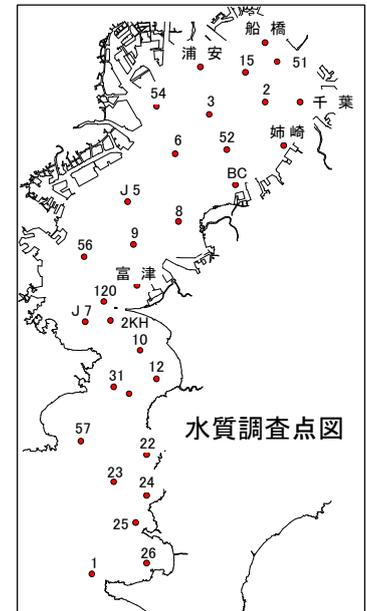


図8 黒潮の動き (平成25年 4月12日)



水質調査点図

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)  
( ): 最近10年間の平均値 (2003~2012年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	15.5 (14.4)	30.38 (30.38)	2.0 (2.2)	8.5 (8.6)	7.0 (6.6)	14 (54)	264 (384)	3 (17)
	st.15	15.1 (14.0)	30.50 (30.31)	2.3 (2.6)	8.5 (8.6)	6.0 (4.6)	12 (40)	299 (371)	1 (9)
	st.3	14.4 (13.9)	30.95 (30.17)	2.9 (3.0)	8.3 (8.6)	5.3 (4.0)	25 (29)	345 (404)	1 (4)
	st.6	14.3 (13.7)	31.43 (30.04)	3.9 (3.3)	8.3 (8.5)	4.4 (4.0)	24 (46)	314 (457)	4 (7)
	st.9	14.7 (13.8)	32.33 (31.26)	3.8 (3.8)	8.2 (8.5)	5.1 (4.8)	13 (27)	240 (293)	2 (4)
	st.BC (盤洲Cブイ)	15.4 (14.3)	32.27 (31.50)	3.4 (3.2)	8.2 (8.4)	5.6 (4.8)	17 (36)	240 (295)	1 (8)
	st.8 (盤洲A南)	14.5 (13.7)	32.44 (31.84)	4.0 (3.8)	8.2 (8.4)	5.1 (4.5)	20 (38)	251 (277)	2 (10)
	富津	15.5 (13.9)	32.22 (31.75)	3.4 (3.7)	8.2 (8.3)	5.6 (5.0)	22 (34)	220 (255)	1 (6)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	14.7 (13.7)	31.89 (32.82)	4.0 (5.2)	8.3 (8.3)		8 (27)	202 (205)	ND (8)
	st.31	14.4 (13.6)	31.64 (33.01)	4.5 (5.7)	8.3 (8.3)		6 (18)	221 (199)	1 (6)
	st.23	17.0 (15.3)	34.41 (34.16)	6.5 (10.6)	8.3 (8.2)		8 (14)	22 (51)	2 (5)
	st.1	17.0 (15.5)	34.42 (34.41)	7.0 (12.9)	8.3 (8.1)		6 (12)	12 (68)	2 (8)
	st.10 (下洲沖)	15.0 (14.0)	31.96 (33.30)	4.5 (6.0)	8.3 (8.2)		10 (22)	200 (160)	1 (7)
	st.12 (湊沖)	16.4 (14.2)	33.32 (33.37)	4.0 (5.8)	8.3 (8.3)		4 (16)	66 (117)	ND (5)
	st.22 (保田沖)	17.0 (15.2)	34.34 (34.21)	6.5 (9.3)	8.3 (8.2)		6 (15)	18 (62)	1 (4)
	st.24 (富山沖)	16.7 (15.5)	34.44 (34.33)	7.5 (11.6)	8.3 (8.2)		5 (15)	8 (50)	2 (6)
	st.26 (館山湾内)	17.0 (15.7)	34.40 (34.41)	4.0 (11.9)	8.3 (8.2)		5 (15)	8 (53)	2 (7)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。